

9/11

ベトナム反戦勝利・安保破棄・沖縄返還・佐藤内閣打倒をめざし

10.21国際反戦統一行動を教養ストで闘おう!

全市大の学友諸君!

―激動する内外情勢の中で 新学期をむかえた我々、この秋にたちとるべきものは何か?― 新たな期待と深意に燃えている全市大の学友に、民学同市大支部は、春の闘いの教訓と、この秋の我々市大生の実題と任務を問うかにすると共に、この実現をめざして、全学反戦に闘いに加わられる事を心から呼びかける。

Ⅱ 激動する情勢と我々の課題―

―ベトナム反戦勝利、安保破棄、沖縄主席公選勝利をめぐり、10.21を闘いぬこう!―

我々をとりまく情勢は世界情勢なら市大に至るまで、あらゆる意味で激動している。ベトナムをめぐる情勢は、はっきりと最終局面を迎えつつある。南ベトナム民族解放勢力の闘いと、それを支える社会主義世界体制を先頭とする全世界の労働者階級、世界平和勢力の闘いの前進は、ベトナム反戦勝利、北爆完全停止、米軍撤退をめぐり、アジアにおける平和共存秩序を確立させ、全世界が平和と平和共存に向け、巨大な一歩をふみ出す事を現実的課題とするという事を示している。しかし、帝国主義も必死の反撃を企てており、これを利用して、我々を信じられないような事態を発生し、これを利用して、ベトナム侵略を完結させようとし、「力の政策」の強化の策動が盛んになっている。日本においてもベトナム侵略を犯す近隣を筆頭に「自主防衛」「安保の必要」を叫び、その策動を強めている。

我々は彼等の策動を断じて許すわけにはいらない。我々は更にベトナム反戦勝利、安保破棄をめざして、徹底的に断固たる鉄槌を加える時に来ている。安保破棄をめざす闘いは、日本の進路をめぐる闘い、中立化をめぐり、アジアの平和共存体制確立にとつての日本における重要な環となる闘いである。

このようなかで、今年で三年目を迎える10.21国際反戦統一行動が、斗われようとしている。既に全世界の反戦平和勢力は準備を開始し、日本にあっても総評四百万労働者、原水禁が闘いを決定している。我々はこの10.21の闘いを、ベトナム反戦勝利、安保破棄、更に、11月に予定されている沖縄主席公選に向け、主席公選勝利、沖縄返還をめぐり、更に、70年の安保再検討を前に行なわれるであろう総選挙をも町内におき、佐藤内閣打倒を明確にめぐり、巨大な規模で闘いぬくならば、必ずや勝利は我々のものとなる事を確信出来る。

2 春の闘いの教訓と、

―この秋の我々の任務

―10.21国際反戦統一行動を、ストライキを含む大斗争として、圧倒的に成功させよう!―

〈ウラハ〉

民学同アピール

―平和と平和共存― '68. 9. 11

反独占民主主義のために

―民主主義学生同盟大阪市大支部―